

####free1####

####name#### 様

■経営特くんゲーム・インストラクタコース

5/21(月) 10:00~17:00 インストラクタ 入門コース 10,000円

5/29(火)、6/4(月) インストラクタ実戦認定コース 30,000円

各日程 10:00~17:00 キット込み7万円で認定インストラクタとして登録

詳しくはURL ; http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_144.pdf

■小規模事業者持続化補助金が募集されています。

販路開拓等の取り組みに対し、原則50万円を上限に補助金(補助率2/3)が出ます。

締切は5月18日です。ぜひ、I&C・HosBiz センターにご相談下さい。

hos_biz@hosbiz.net

=====

女性起業家の成功のポイント

6回シリーズ 第6回 女性の創業の今後の課題

著者：IT支援・経営支援家

中小企業診断士 鈴木 香織

=====

近年、創業セミナーなど女性の創業を後押しする公的機関による施策が増えていきます。

これまでにはない視点を経営に活かして成長していく女性起業家が注目される一方、多くの課題を抱えています。

「女性起業家」ではない方も、改めてご自身の課題、着眼点の見直しにつながる機会を提供できれば幸いです。

<著者プロフィール>

北海道函館市出身。上智大学卒業。

15年間情報処理サービス業にて社内SE、生産管理、採用

等に従事した後、2014年4月に中小企業診断士として独立。

創業、商店街、補助金などを中心とした公的支援の他、Pマーク取得やIT活用

などの支援を行う傍ら、専門学校・短大・創業セミナー等の講師も行っている。

=====
第6回 女性の創業の今後の課題

IT 支援・経営支援家 中小企業診断士 鈴木 香織

前回は、女性起業家が、事業として成長させる方法を「ヒト」「モノ」「カネ」の観点で取り上げました。

これらの3つの要素は、必ずしも独立したものではなく、互いに因果関係が伴います。最初から全て兼ね備えた起業家は多くはありませんが、長期的な視野で考えていく必要があります。

今回は「女性の創業の今後の課題」について、取り上げます。

ここ数年、公的な支援機関では、女性の創業を促すためのセミナーや交流会、その他多様な支援策を提供してきています。一方で、「中小企業白書」によると、10年後には3割、20年後には5割の企業が撤退しているという発表もあります。

この「女性のための創業ブーム」が終わったて、20年経た時、現在の女性起業家はどうなっているのかについて考えます。

現在、起業したばかりの女性が、20年後には持っている課題では、以下の2つが考えられます。

●現在の女性起業家の20年後：家庭事情の変化

女性起業家の中には、起業の動機として「自宅の近くで働きたい」「自由に時間が使い易いと思った」を挙げる方が多いです。企業に勤務するよりも収入が不安定であっても、時間や場所の制約がなく働けるという点において、起業のメリットを感じると考えられます。

しかしながら、数十年後も立つと、介護の問題も出てきます。介護は育児と異なり、いつまで続くのか、という見通しが立てにくいという問題もある上、独身であってもふりかかる問題です。その中で、どのようにして両立させるのか、特に、一人で運営している労働集約的なサービス業を続けるという点では、大きな課題となります。

●現在の女性起業家の20年後：後継者の問題

最近では母親と娘で起業する、というケースも目にするようになりましたが、女性起業家はまだ一人で開業する方が多く、また長期的に考えも従業員を雇用する、という視点を持っている方はあまり存在しません。

特に経営者個人の力量のみで成り立っているサービス業の場合、早期に右腕を育

成することが大切です。

20年後にはマネジメントの知識や経験のある女性起業家は増えていくのではないかと考えられます。現在の女性起業家は、管理職としての経験を持たずに起業したケースが多く見受けられ、これは、必ずしも女性本人に管理職になる意欲がないだけでなく、女性管理職を輩出する企業がまだ不十分な背景があります。もしも、今後、企業の女性管理職の比率が増加していくのであれば、マネジメントの知識を持って起業する方も増えていくと考えられ、成長志向を持ち、雇用も創出する女性起業家も増加していくのではないのでしょうか。

今回でシリーズ「女性起業家の成功のポイント」は終了となります。これまで、6回に渡って、お読み下さり、ありがとうございました。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lelend.com/stepmail/dela.php?no=xxxxxx&a_mail=###mail###